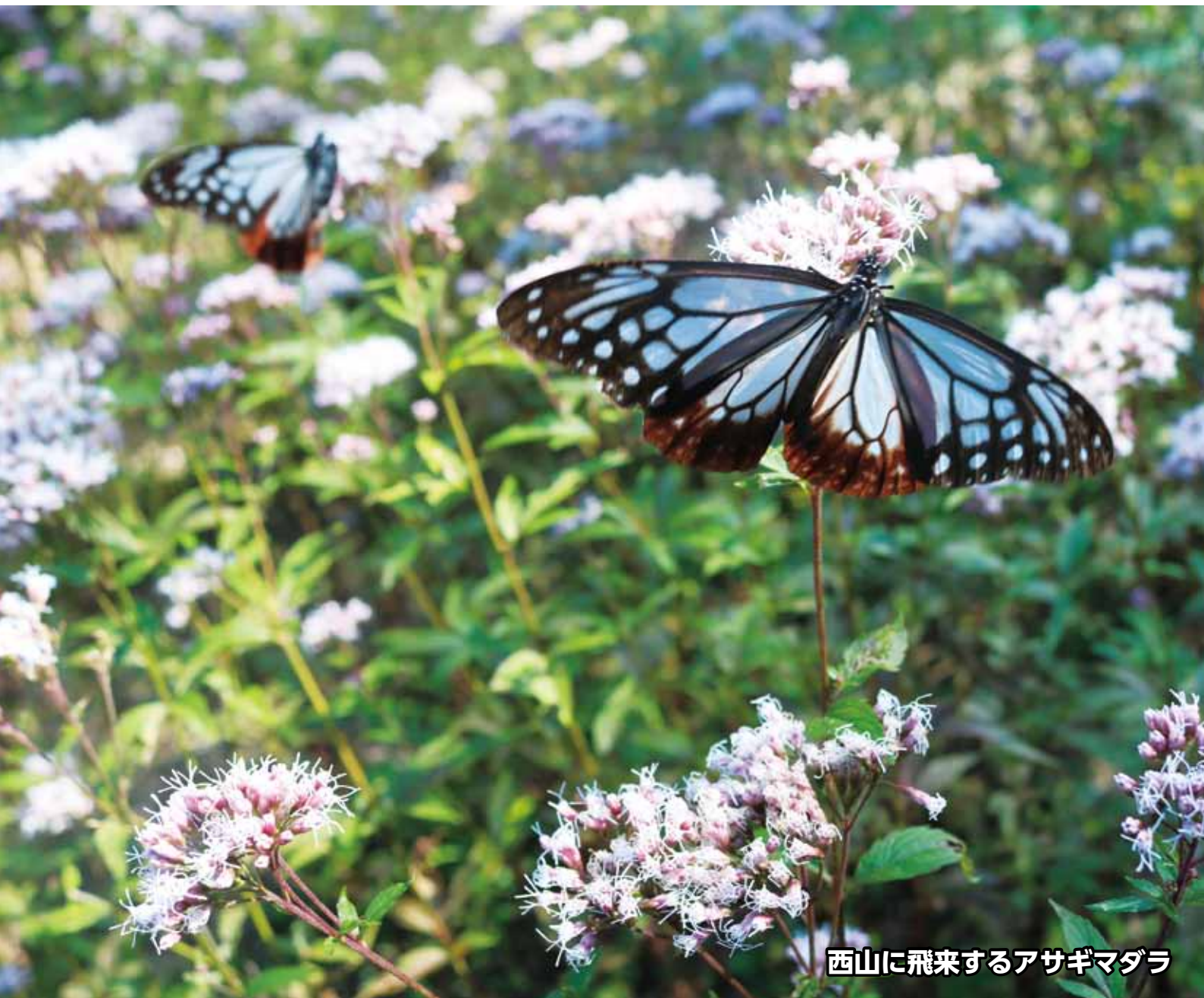


議会だより

ひだか

第179号

令和6年10月25日



西山に飛来するアサギマダラ

バス・タクシー助成券の利用増	令和5年度決算	2～4
学校給食費の無償化	補正予算	5
ペットを含めた避難行動は	一般質問	7～9
充実した子育て支援を	委員会レポート	10

令和5年度決算を認定

一般会計歳出決算

52億9,918万円

特別会計歳出決算

20億4,194万円

国民健康保険特別会計歳出決算

9億2,249万円

介護保険特別会計歳出決算

9億1,162万円

後期高齢者医療特別会計歳出決算

2億 783万円

第3回定例会は9月9日から19日まで11日間の会期で開催した。

今定例会では、令和5年度一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算を認定した。また、令和6年度補正予算及び条例等議案8件、発議1件が提案され、慎重審議の結果、原案の通り可決したほか、人権擁護委員候補者の推薦に関して「適任」と答申をした。

令和5年度決算質疑

ふるさと納税

問 1万3,728件ある中で、1件当たりの多い寄付額や好んで選ばれた返礼品は。

総務課長 寄付額の件数で多いのは1万円から2万円。返礼品にはミカンが非常に多く選ばれた。



返礼品の大半は柑橘系が選ばれる

高齢者外出支援事業（バス・タクシー助成券）

問 令和4年度決算よりも、助成券の追加購入額が上がっている。詳細説明を。

いきいき長寿課長 令和5年12月から小口販売を開始したことが購入増につながった。

小口販売は3千円の券を2千円で購入することが出来る。

路線バスの活性化

問 路線バスの活性化を促すために行ったワークショップ及び、バス乗車体験の目的と成果は。

企画まちづくり課長 外出支援の券が、「タクシー券」と呼ばれて、バスで使えることを知らない人が多いため、実際にバスに乗車して買物ツアーという形で実施した事業である。

令和5年度が中志賀地区で、その前年度は比井地区で実施し、令和6年度も1地区で実施する予定である。

成果については、まだ2年目の事業であるため分析は行っていないが、『御坊市への買物や通院の際に、行き道はバスを利用するように変えて行きたい』というような声は聞いている。

引きこもり支援事業

問 ひきこもり支援ステーション事業の、社会参加支援の説明を。

住民生活課長 美浜町にあるNPO法人ヴィダ・リブレにひきこもりの相談や、居場所として活用している人の内、高校・大学への進学や就職するにあたり、「若者サポートステーションわかやま」を利用して支援につなげる活動で、延べ3回行った。



引きこもり支援をおこなっている
ヴィダ・リブレ

日高地域体験型観光地方創生事業

問 教育旅行を誘致して、日高町内で民泊や黒竹などの体験とのことだが、町内で教育旅行を受け入れるメリットは何か。

企画まちづくり課長 交流人口及び関係人口を拡大させ、観光事業者等の所得向上につながる経済的効果及び、地域コミュニティの構成強化、人材育成が目的の事業。

こういう体験をしてもらうことによって、また日高町に来てもらえるよう期待しているものである。



黒竹の組み立てや加工を体験

監査委員の意見

歳入

昨年度と比べると町税において1026万2千円の増であるが、依存財源による財政事情に変わりはなく、経常収支比率が高い状態が続くことが懸念される。税・料における収入未済額の一部が長期化・固定化しており、その発生増加に十分留意し、引き続き最大限の徴収努力を望むものである。

歳出

昭和50年代に建築された公共施設が多数あり、今後、修繕及び整備にかかる費用の増加が見込まれるため、有効な補助事業や地方債の活用を図るとともに、事務事業の見直しなど、より一層の健全財政の堅持を心掛けて頂きたい。

介護保険特別会計において、昨年度と比較して、予算計上見積りへの努力は見受けられるが、介護保険制度が介護を社会全体で支えあう仕組みであることを鑑み、引き続き、給付と負担のバランスを考慮した予算計上を望むものである。

上水道及び下水道事業においても、施設の老朽化による修繕が考えられる。今後も安定的に経営を継続できるよう、一層経費削減を心掛けて頂きたい。

産湯海水浴場利用促進事業

問 温泉館利用券配布枚数655枚となっているがこの利用実績は。

企画まちづくり課長 産湯海水浴場で、平日に有料駐車した人に、車1台につき1枚配布した。令和5年度は、約1／4が利用された。使用期限は無いので、引き続き調査を続けていきたい。



温泉館利用券と一緒に案内図も配布

学童保育所指導員の処遇

問 学童保育所の指導員の処遇は、周辺の市町と比較してどうなのか。

教育課長 比較はしていないが、不満を言わ

れたことは今までに無い。

経験年数が増えたり、資格を持っている指導員の給料が上がっているため、毎年、委託料が上がっている状況である。

自主防災組織資機材購入費

問 自主防災組織の立ち上げから一定の年数が経過した地区において、資機材を更新する際に補助金が出るのか。

総務課長 自主防災組織の資機材の購入費については、和歌山県の防災パワーアップ補助金を活用できる。

その補助金の交付要綱の中に、「地区自主防災会での研修などを実施した場合には資機材の購入も可能」となっている。

更新すべき資機材については、これを活用する。



県の補助を受けて資機材を整備

決算反対討論

保育所、学童保育所、学校給食など、子育て支援や教育で重要な役割を果たしている施設、施策の民間委託はすべきではありません。また、多くの会計年度任用職員の待遇改善と正規化も大きな課題です。

あらゆる課題で国の言いなりではなく、意見をしっかりと挙げていくことが必要です。地方自治法が定める「福祉の増進」を基本に、住民の命と暮らしを守る町政運営を求め、反対討論とします。

西岡 佳奈子

決算賛成討論

各財政指数において、日高町の財政が健全であることが示されており、広範囲に渡る行政がなされ、一定の成果を収めている。旧比井小学校グラウンドへの住民公園の整備、生活道路の新設改良も手がけるなど、住民生活の下支えを行ったことについては、一定の評価をするものであります。

今後も健全な財政運営を維持しつつ、住民生活にかかる施策の充実に要望し、賛成討論とします。

辻村 昌宏

令和6年度 一般会計補正予算

学校給食費の無償化

問 学校給食費無償化について説明を。

教育課長 日高町が給食費の1/2を負担することで、県の補助金を受けて給食費を無償にするもの。

期間は本年10月から翌年3月まで。

問 来年度以降も県は、県費補助を実施する意向なのか。また日高町はどうするのか。

町長 来年度も県が給食費の補助を行うなら、町としては無償化に取り組みたい。



令和7年3月まで給食費が無料に

予防接種委託料

問 コロナウイルスワクチン接種費用の増額について説明を。

子育て福祉健康課長 国が供給するワクチンの希望小売価格が8,300円増額し、接種1回当たりの費用が1万5,300円に見直された。

超過費用に助成金が交付されることになり、接種委託料を1,700回分で1,411万円を追加計上した。

有害鳥獣捕獲報償金

問 有害鳥獣捕獲報償金の増額補正について説明を。

産業建設課長 令和5年8月時点のイノシシ捕獲頭数が54頭であるのに対して、今年度では326頭に増えている。

同様にサルは61頭が253頭に、シカについても126頭が193頭と増加している。このままでは、予算が足りなくなるので、増額補正したい。



有害鳥獣の捕獲頭数が増えている

低所得者支援・定額減税補足給付

問 給付人数の見込みと、今回増額する人数内訳の説明を。

住民生活課長 当初令和4年度の税情報を元に270人分計上していた。

令和6年度中に入手可能な課税情報をもとに、令和5年度の課税情報で算出した所、対象人数が1,585人で、7,500万円を想定している。

問 給付までの事務手続きの説明を。

住民生活課長 現在、住民税均等割のみ課税世帯及び、低所得子育て世帯の18歳以下の子どもへの加算給付を行っている。

今回の補正で、6年度に新たに住民税非課税となる世帯、住民税均等割のみ課税となる世帯への給付金、定額減税しきれない人への補足給付（調整給付）対象者に、確認書及び申請書を送付し、給付を行う。10月末まで受け付ける予定である。

人権擁護委員



塩崎 貢氏
(比井)



楠原 晃紹氏
(志賀)

人権擁護委員として推薦したいと議会に諮問され、適任と答申をした。

工事請負契約

内原小学校の増改築工事

- ◇契約の相手先：梶工務店
- ◇落札価格：3億4,194万6千円
- ◇落札率：90%
- ◇工期：令和7年12月31日



増改築予定の内原小学校北側

指定管理者の指定

町立保育所の指定管理者の指定

◇指定管理者：共立ソリューションズ

◇管理の期間：令和7年4月1日～

令和12年3月31日

現在の指定管理の指定が令和7年3月31日で期間が満了となるため、引き続き共立ソリューションズに、令和7年4月1日から令和12年3月31日までの期間を指定するもの。

日高町印鑑条例の一部改正

コンビニなどに設置されている多機能端末機から印鑑登録証明が取得できるよう、本条例の一部を改正するもの。

問 コンビニなどとあるが、役場その他公共施設で多機能端末機を設置する予定は。

住民生活課長 現在は、庁内及び町内の公共施設には設置していないが今後、検討する。

コンビニ交付については、住民票の写しと印鑑登録証明書の発行が、10月1日より可能となる。



コンビニにある多機能端末機

やまなか まさつぐ
山中 雅嗣 議員

ペットを含めた避難行動は 町長 同行避難は禁止していない



山中 日高町地域防災計画の中に動物保護管理があるが、町はどのような対応を考えているか。

同行避難・同伴避難はどう考えているか。

町長 避難生活の場合、ペットの野生化などを防ぐ効果があると考え、同行避難は禁止していない。

一方、ペットが苦手な人、アレルギーを持っている人がいる。ペットに関するトラブルを避けるため、介助犬をのぞき原則、同伴避難は禁止としている。

山中 広い面積が確保出来る場所で同行避難が可能とのことだが、具体的にどこの避難所で受入れが可能か。

総務課長 災害の種別、規模で開設する避難所も異なるが、保育所や小中学校など避難所としては16カ所程度を想定している。

山中 大雨による水害の危険があり、一時的に避難する場合、全ての避難所で同行避難が難しいなら、他の避難所へ行ける「ＬⅤⅢ／高齢者等避難指示」で避難開始すべきと考えるが、どのような対応をすればよいか。

町長 ハザードマップを確認する中で、避難が必要と思われる場合は、事前に預ける場所を決めておく、2階にペットの垂直避難を行うなど平時から検討していただきたい。

山中 ペットを連れた避難はフレートに入れて来るのが基本であるが、避難所が隣り合うような場所ではスペースを分ける事も可能で

あると思う。

避難すべき住民が避難をためらう事のないような対応を考えてもらいたい。



人とペットの災害対策
ガイドライン（環境省）

◇同行避難が可能な避難所◇

内原保育所、内原小学校、中紀地域職業訓練センター、農村環境改善センター、中央公民館、ふれあいセンター、池田公民館、志賀小学校、武道館、志賀保育所、文化会館、日高中学校、温泉館みちしおの湯、比井崎体育館、比井崎漁村センター

同行避難：ペットと一緒に避難所へ避難する。

同伴避難：一緒に避難し、同室で一緒に過ごす。



しば みつひろ
芝 充彦 議員

各事業の見直しと安定的な財調基金を 町長 確保し、取り組んでいく

芝 近い将来に発生が予想されている南海トラフ巨大地震に備え、財政調整基金の安定的な確保は必須要件であり、現在町が運営している温泉館「海の里」みちしおの湯の経営状態が財政調整基金に影響を与えているのでは。

過去10年間の歳入歳出決算をみると恒常的に赤字が出ており、運営の見直しを抜本的にやるべきでは。

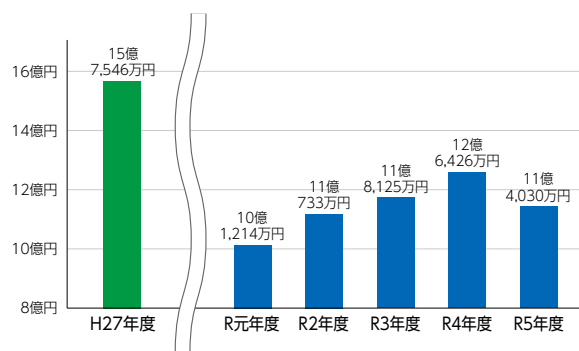
町長 毎年のように修繕費、隔年で源泉ポンプの入れ替え、空調設備の修繕費と非常に大きなお金が必要で憂慮している。しかし、町内外から4万人を超える人々が訪れている。『良かった』という声もあるので、出来る限り赤字を少なくして取り組んでいきたい。

芝 温泉館の恒常的な赤字を、今後も続けていくということか。

町長 地元雇用もあり、地域の活性も図りたいと思っている。集客に力をいれていきたい。

芝 恒常的に赤字を続けている温泉館の運営について、心配の声も聞く。他の町をみてもこのような状態は見受けられないが。

町長 温泉館運営を、出来る限り精一杯取り組んでいく。



財政調整基金の推移

芝 財政調整基金が減少している。不測の事態に対応すべき財調基金はいくら必要か。

町長 10億円を確保するようにしている。

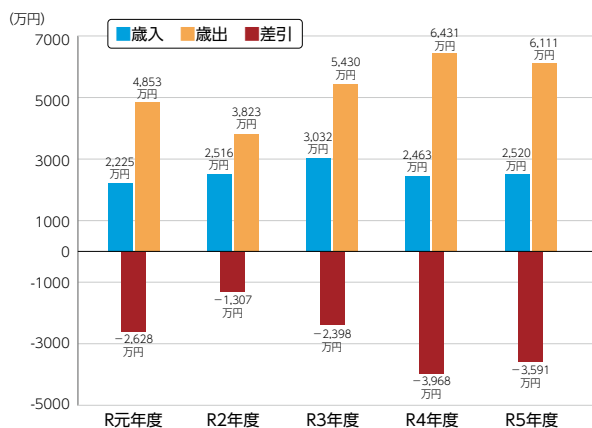
芝 現在の財政調整基金残高は。

総務課長 令和6年度末で9億6,000万円程度の見込みである。

芝 今回は一部の事業を質したが、今後もしっかりと注視し、災害などの不測の事態に対応していくためにも、職員の力が必要となる。

町長には財政調整基金の更なる現状維持以上の成果を求めるが。

町長 しっかりと確保し、十分に取り組んでいく。



温泉館 歳入歳出決算の推移

にしおか かなこ
西岡 佳奈子 議員

災害時協力井戸制度の創設を 町長 十分検討したい



災害時に井戸水が活用できる仕組みを



西岡 災害発生時には何よりも水の確保が求められる。飲料水とともに生活水の確保は必須である。井戸水活用の検討が必要。

町内でも自宅に井戸があり、さまざまな形で利用されている家庭も少なくない。その井戸水を、災害時に提供してもらえるように町に登録する制度の創設を。

町長 使用期限が過ぎた保存水をそのまま備蓄し、生活水として転用することとしている。現時点で、災害時生活水協力井戸の登録は考えていないが、一度、制度を実施している市町の状況などを調査研究したい。

西岡 あらゆることを想定し準備していくことが必要。住民同士が支え合う仕組みとしても有効だと考える。近隣の市町の状況は把握しているか。

総務課長 御坊市、印南町、みなべ町で制度を実施している。日高川町では9月定例会で関連予算を計上したと聞いている。

西岡 調査した上で、どのような形で取り組めるか検討を。

町長 井戸水を活用できるのであれば、重要な取り組みになる。生活水としてどのように使えるかを考え、十分検討していきたい。

マイナカード取得を 強制しないで

西岡 現在発行されている保険証の利用期限後はどうなるのか。

町長 マイナンバーカードを持っていない人やマイナ保険証の登録をしていない人には、保険証に代わる資格確認書を発行する。手続きは不要。また、登録している人で資格確認書を希望する場合は、申請が必要である。

西岡 保険証が廃止されても、資格確認書により、引き続き医療にかかれることの周知を。

町長 ポスターや広報、リーフレット、ホームページなどで周知していく。

西岡 保険証の廃止を通じて、マイナンバーカードの取得を強制するような施策をとらないよう国に意見をあげることを求める。

	被保険者	マイナ保険証を持っていない(*)
国民健康保険(8月末)	1,695人	502人
後期高齢者医療(7月末)	1,276人	491人

* マイナンバーカードを持っていないか、マイナ保険証に登録していない被保険者数

— 他の一般質問 —

○ 大阪・関西万博

学校行事として行くべきでない

委員会レポート

総務福祉常任委員会

充実した子育て支援を

日高町の妊産婦支援について、子育て福祉健康課より説明を受けた。

令和5年度の日高町の妊娠届け出数は58件、出生届が57件あり、直近5年間では大きな変動はなく、妊娠届の年平均は59人、出生届が61人とのことであった。



ぜひ母子手帳アプリのダウンロードを

支援内容については、妊娠前では不妊治療に対する助成、妊娠期は伴走型の相談支援がある。出産後は、新生児のいるすべての家庭を保健師が訪問し、発育・発達の確認、子育て中のお母さんの不安や悩みを聞く『こんにちは赤ちゃん事業』を行っている。委託医療機関ではデイサービス、宿泊により母子の心身のケア、育児サポートを行う『産後ケア事業』などがある。

また、未就園期にはクエッコランドがあり、切れ目のないサポートを実施しているとのことであった。

委員からは町単独の支援の項目、母子手帳アプリのダウンロード数、ファミリーサポートセンターの状況などについて質疑があった。



子育て支援のまちづくりを

産業教育常任委員会

学童保育等の現状

町立学童保育所の現状等について調査した。

編集後記

まずはじめに1月の地震に続き、またしても能登地方を襲った豪雨により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

日高町でも昨年、水害が起こり、今年は南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど、いつ起こるか分からない自然災害というものに、改めて備えなければいけないと感じる年であります。

さて、今年も各地で秋季例大祭が行われました。コロナ以降、昨年に引き続き2年連続で無事に行われたことに、当たり前の日常としてののを考えさせられるものであります。秋祭りは、災害が起きた時にも大事な地域でのつながり、地域コミュニティの一助にもなっていると思いますし、地域活性化にも繋がればと願うばかりです。

杉浦 研太